

令和 6 年度

第 3 回豊島区在宅医療連携推進会議

令和 7 年 1 月 30 日（木）午後 7 時 30 分～
オンライン会議

《次 第》

1 開会

2 議事

- (1) 各部会の報告
- (2) 在宅医療相談窓口の実績報告について
- (3) 歯科相談窓口の実績報告について
- (4) 在宅医療コーディネーター研修の実績報告について
- (5) 令和 6 年度豊島区在宅医療連携推進会議交流会について

【配付資料】

資料 1	ICT 部会報告資料
資料 2	口腔・嚥下障害部会報告資料
資料 3	在宅服薬支援部会資料
資料 4	訪問看護ステーション部会報告資料
資料 5	リハビリテーション部会報告資料
資料 6	臨床倫理部会報告資料
資料 7	豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点実績報告書
資料 8	豊島区歯科相談窓口実績報告書
資料 9	豊島区在宅医療連携推進会議交流会 チラシ

参考資料 1 在宅医療相談窓口相談事例

参考資料 2 歯科相談窓口相談事例

【当日配布予定資料】

豊島区在宅医療コーディネーター養成講座基礎編実績報告

令和 6 年度第 2 回在宅医療連携推進会議 会議録（要旨）

令和 6 年度第 3 回豊島区在宅医療連携推進会議 ICT 部会報告

I.報告事項

- (1)豊島区医師会多職種連携ネットワーク(表 1)
- (2)令和 6 年度東京都在宅医療推進強化事業(24時間診療体制推進)について(図 1)
Iver(電話転送)、Symview(WEB 問診)、モバカルネット、インターネット FAX など

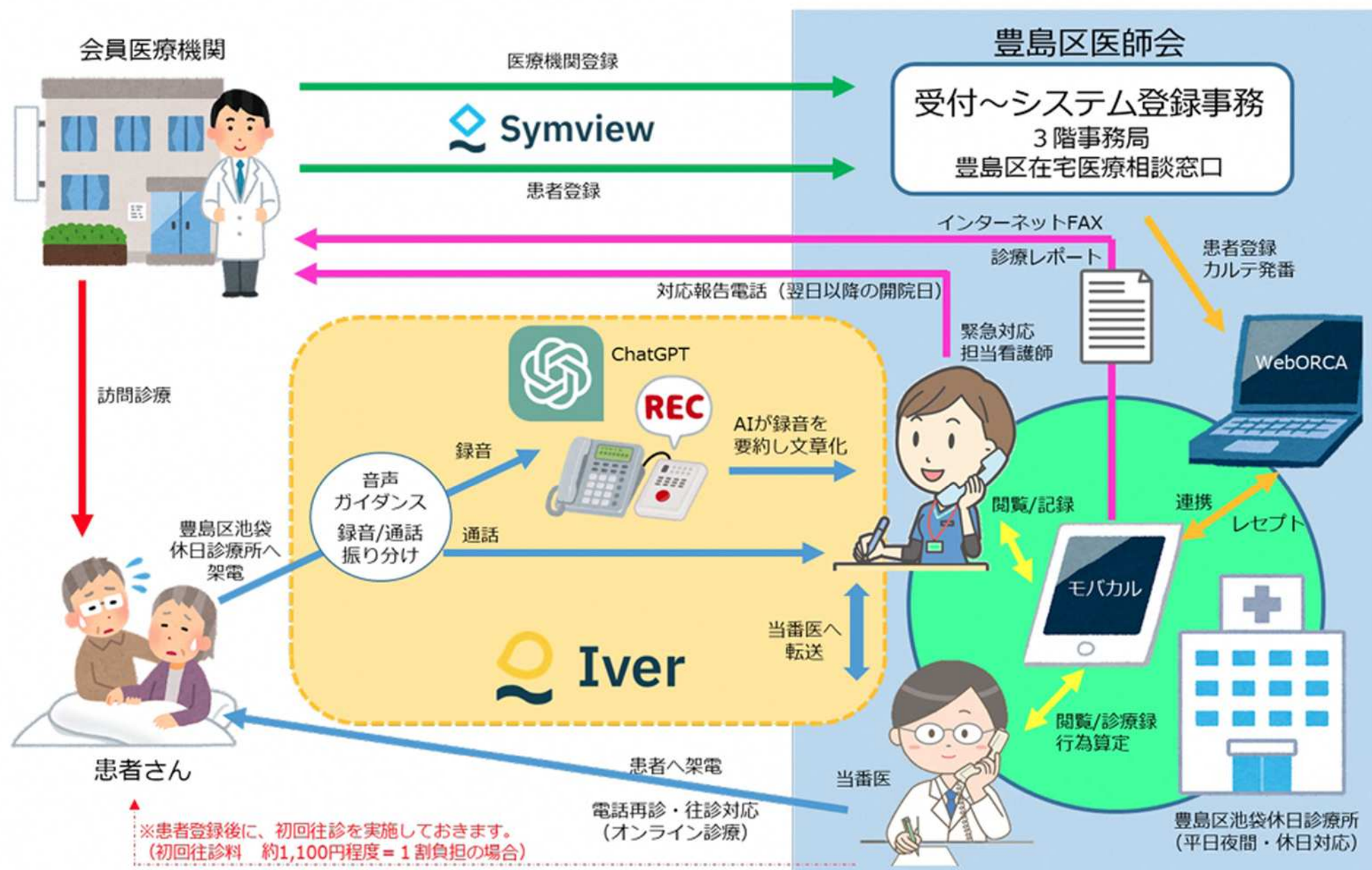
II.今年度計画

- (1)豊島区医師会多職種ネットワーク(としまるネット)の再周知
 - (2)オンラインカンファレンス・オンライン診療の検討
 - (3)多職種連携システム利用に伴うメリットの確認
 - ・保険請求の要件となる事項について
 - (4)病診連携の推進
 - (5)令和 6 年度東京都在宅医療推進強化事業(24時間診療体制推進)について
- 文責:水足一博

表 1 豊島区における MCS 利用状況(月別統計)

月別統計					
ユーザ総数 (先月末)			患者総数 (先月末)		
すべて			患者グループ総数		
2644 (2637)			4544 (4523)		
医師会登録			ネット未登録		
1999 (1995)			4240 (4222)		
一部			ネット参加済		
645 (642)			304 (301)		
投稿総数 (先月末)			施設総数 (先月末)		
すべて			医師会加盟施設		
1007553 (1003898)			893 (891)		
医師会加盟			自由グループ総数 (先月末)		
954898 (951583)			自由グループ		
一部			1012 (1011)		
52655 (52315)					
	ユーザ数	投稿数	患者数	施設数	自由グループ数
2024/12	10	3658	21	2	1
2024/11	54	14881	80	6	14
2024/10	43	15713	112	4	6
2024/09	30	15004	104	2	18
2024/08	29	15160	112	4	11
2024/07	51	15202	129	4	20
2024/06	54	14052	115	9	14
2024/05	42	13606	115	10	11
2024/04	59	13183	101	13	12

豊島区医師会在宅医療推進強化事業 システム概略図 (2024.10.9)



令和 6 年度

在宅医療連携推進会議

口腔・嚥下障害部会

令和 6 年度 口腔・嚥下障害者への取り組み報告

◎口腔機能向上・予防事業

2024 年度 通所型短期集中介護予防報告書

実施日時	場 所	参加人数	内 容
2024 年 5 月 16 日 10 : 10 ~ 10 : 55	ジェクサーフィットネス&スパ 大塚	6 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（唾液腺体操・舌体操・頬体操・口唇体操・おでこ体操・パタカラ） 噛める人の方が転びにくい・握力がある・認知症リスクが少ないなどのグラフに反応が良かった。
2024 年 5 月 27 日 9 : 40 ~ 10 : 25	区民ひろばさくら第二	8 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・頬体操・口唇体操・パタカラ） ガムを噛んだあと舌を見ていただく所で盛り上がりがあった。
2024 年 5 月 29 日 10 : 40 ~ 11 : 25	高田介護予防センター	6 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・頬体操・口唇体操・パタカラ） 歯磨きの仕方やケア用品についての質問がいくつかあった。
2024 年 6 月 18 日 9 : 40 ~ 10 : 25	区民ひろば駒込	6 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・頬体操・口唇体操・パタカラ） 固めの食材はどんなものがあるかと質問があった。区の栄養士さんからアドバイスをいただいた。
2024 年 7 月 4 日 9 : 40 ~ 10 : 25	ゆたか苑	6 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・口唇体操・パタカラ・おでこ体操） オーラルフレイルチェックやガムテストの結果の時に盛り上がりがあった。

2024 年 8 月 8 日 15 : 10 ~ 15 : 55	池袋えびすの郷	4 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・口唇体操・パタカラ・おでこ体操） オーラルフレイルチェックではオーラルフレイルに該当 する方がいたが、ガムテストの結果は皆さん 4 以上であ った。口腔乾燥についてのお悩みが多かった。
2024 年 8 月 21 日 10 : 40 ~ 11 : 25	東池袋フレイル 対策センター	5 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・口唇体操・パタカラ・おでこ体操） 質問もでたり、みんな協力的で楽しんでやられていまし た。
2024 年 10 月 2 日 14 : 40 ~ 15 : 25	安寿	8 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（唾液腺マッサージ・舌口唇頬体操・パタカラ・ おでこ体操）、咬合力ガムテスト。 皆さん真剣に聞いておられ、咬合維持と認知症リスク関 連の話や、ガムテストが特に反応良い。
2024 年 10 月 4 日 10 : 10 ~ 10 : 55	ジェクサーフィ ットネス&スパ 板橋	4 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・パタカラ・おでこ体操・唾液腺マッサ ージ） 参加者皆様オーラルフレイルチェックの結果が比較的よ く、口腔への意識が高かった。講座終了後、皆様それぞ れから悩みや質問があがった。
2024 年 10 月 31 10 : 10 ~ 10 : 55	ジェクサーフィ ットネス&スパ 大塚	8 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・パタカラ・唾液腺マッサージ） 参加者皆様オーラルフレイルチェックの結果はオーラル フレイルに該当する方がいたが、咀嚼力判定ガムの結果 は皆様良好であった。あぜりあの予定表から本日の予定 が消えており、遅れての開始となったが、フォローしてい ただき実施することができた。
2024 年 12 月 18 10 : 40 ~ 11 : 25	東池袋フレイル 対策センター	3 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・口唇体操・パタカラ・おでこ体操） 人数が少なかったが皆様熱心に聴講してくださってい た。
2025 年 1 月 7 日 10 : 15 ~ 11 : 10	ジェクサーフィ ットネス&スパ メトロポリタン	7 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、 口腔体操（舌体操・口唇体操・パタカラ・おでこ体操） 皆様熱心に聴講して下さっていた。全員お元気で、口腔ケ アや口腔体操など、続けていただければオーラルフレイ ルは予防できそうな方々であった。

2025 年 1 月 9 日 9 : 40～10 : 25	区民ひろば上池袋	7 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、口腔体操（舌体操・口唇体操・おでこ体操・パタカラ）、むせる自覚症状有の方が多かったので、嚥下力に特化した内容にした。質問も多く皆さん熱心であった。
2025 年 1 月 20 日 14 : 40～15 : 25	西部区民事務所	8 名	口腔講座（オーラルフレイル予防の内容、紙芝居使用）、口腔体操（舌体操・口唇体操・パタカラ・おでこ体操）皆様熱心に聴講してくださっていた。通常は静かな受講者であるが、盛り上がった。質問も沢山出た。

2024 年度 災害時の口腔ケア 報告

実施日時	場 所	参加人数	内 容
5 月 16 日 13 : 30～14 : 30	区民ひろば千早	26 名	講義も熱心に聴講してくださった。口腔体操も真剣に取り組んでいただいた。質問はなし。
6 月 19 日 10 : 30～11 : 30	区民ひろば高南第一	13 名	皆さん熱心であった。始まる前に歯科相談 2 件あった。
8 月 9 日 13 : 30～14 : 30	高田介護予防センター	17 名	皆さん熱心であった。
9 月 18 日 13 : 30～14 : 30	区民ひろば池袋	18 名	メモを取りつつ、皆さん真剣に聴いておられた。
9 月 25 日 14 : 00～15 : 00	区民ひろば朝日	12 名	災害関連死について興味深そうに聴いておられた。口腔体操は熱心にとりくまれていた。
11 月 27 日 10 : 30～11 : 30	区民ひろば目白	15 名	2 回目受講の方が何名かいらっしゃった。皆さん熱心であった。歯ブラシの硬さについて、終了後質問があった。

◎管理栄養士による居宅療養管理指導

居宅開始	氏名	性別	介護度	年齢	既往歴	依頼理由	転帰
2024年 10月から	■■■■■	女性	支2	85歳	膠原病 強皮症 慢性腎不全	ご家族より、食欲がないのが心配。栄養指導を受けたい。	1 月永眠
2024年 12月から	■■■■■	女性	介3	81歳	統合失調症 大腿骨骨折	娘さんから依頼。残存歯が6本しかなく、しかも臼歯がないため、咀嚼ができない。義歯を使用することを勧めるが拒否。痩せてきているので、体重をふやしたい。精神の薬を飲むのを拒否しているため、食事の内容にもこだわりがあり、どのような食形態と食品を提供したらよいか相談したい。	
2025年 1 月から	■■■■■	女性	介4	98歳	脳梗塞 尿路結石 腰椎圧迫骨折 高血圧	骨折で入院中、痩せてしまい、義歯が合わなくなり、訪問歯科に入ってもらったが、義歯が上手く使用できず、退院後のあざりあ歯科の訪問診療でも義歯は使用しないほうが食べやすいのであれば、義歯なしで食べやすい食形態の食事にシフトした方がよいと評価された。ご主人が食事を作っており、嚥下食のレポートリーがないので相談したい。⇒直接管理栄養士から連絡を入れた時、そんなことを頼んだ覚えはない、とおっしゃっていたが、話しをしているうちに訪問希望に気持ちが変わった。	

※2 月から 1 名新規の申し込みあり

◎障害者福祉施設「茜の里」への訪問歯科診療、摂食嚥下機能評価を隔週（毎月第 1、3 木曜日）で実施

◎令和 6 年度「あぜりあ歯科」在宅歯科訪問診療実績

令和 6 年 4 月～令和 6 年 12 月

実人数：158 件 延べ回数：445 回

◎嚥下内視鏡検査実績

実人数：1 名

◎令和 6 年度高齢者介護施設歯科訪問診療実績

令和 6 年 4 月～令和 6 年 12 月

実人数：558 件 延べ回数：3,090 回

◎摂食嚥下機能訓練外来（毎月第 3 火曜日実施）

出張摂食嚥下機能訓練外来（西部子ども家庭支援センター）

令和 6 年 9 月 24 日

保護者・職員向け講演会

個別指導 4 組 4 人

令和 6 年度口腔・嚥下障害者への取り組み

◎令和 6 年度より、管理栄養士を 1 名さらに 1 名「あぜりあ歯科診療所」で非常勤雇用契約を結び、毎月の摂食嚥下機能訓練外来に参加してもらい、障害児への栄養指導に参画してもらうことになった。併せて在宅療養者への訪問栄養指導も行ってもらっている。

◎令和 6 年 9 月に「あぜりあ歯科診療所」が認定栄養ケアステーションとして登録され、在宅療養者への訪問栄養指導や区民からの栄養に関する要望に応じていく。

◎栄養と口腔をテーマにした認知症カフェ「かむカム」の運営を 10 月より開始

令和 7 年 1 月 30 日（木）19 時 30 分～21 時 00 分

令和 6 年度 第 3 回豊島区在宅医療連携推進会議 服薬支援部会報告

I. 報告事項

○部会開催：部会開催なし。

※ケアマネジャーと薬剤師の合同ミーティングを約 2 ヶ月に 1 回のペースで開催していた。

○ケアマネジャーと薬剤師の合同勉強会を開催し、アンケートを実施した。

→アンケートの内容から今後の合同ミーティングのテーマを決めていくことになっている。

○ケアマネジャーと連携していく中で、薬剤師の知識や意識の向上をさせていく必要があると分かった。知識や意識を向上させるために『**薬剤師のための在宅医療研究会**』が発足した。

II. 来期計画

○ケアマネジャーと薬剤師の合同ミーティングを引き続き実施する。

→ 実施したアンケートの内容からテーマを決めて実施する。

- ・症例検討をグループワークで行う。
- ・前回書いてもらったアンケートの内容からテーマを決定して話し合う。

○薬剤師の在宅医療を中心とした知識向上、意識向上させる研究会を引き続き実施する。

→薬剤師がもっと薬局の外に目を向けて活動できるように支援すると共に、他職種との連携の際に必要な知識をつけてもらい、他業種の方にも参加してもらえるようにお声がけをしております。興味がある方はぜひいらしてください。

○ケアマネジャーと薬剤師の合同ミーティング（＝部会開催）は 4～5 月頃に実施予定

※在宅医療研究会の議事録を参考資料として提出します。

↓

以上

開催日:2025 年 1 月 23 日(木)19:30~20:30

(参考資料)

第2回 薬剤師の為の在宅医療研究会

【研究会の目的】

- ・知識、意識の向上を促し、多くの薬局で在宅医療に係わることが出来るようにする
- ・薬局における在宅業務の平準化

【本日のテーマ:在宅医療にクリーンベンチは必要か?】

《 現状 》

- ・会員薬局(110 薬局)中でクリーンベンチを設置している薬局は 14 薬局

《 クリーンベンチを設置していない薬局の不安要素 》

- ・設置費用及び設置スペースやメンテナンス
- ・調剤や機器の使用方法などの手技への不安
- ・案件を受ける時の不安

→終末期になった時に最後まで受け切らない状況で案件を受けてしまってよいのか?

- ・在庫(麻薬)の不安

《 クリーンベンチを設置している薬局からの意見 》

- ・途中から(ほぼ最後に)案件を受けることは少ない。
受けるのはある程度仕方がないと考えているが、実際に薬を持っていく時には、それまで訪問していた薬局が同行していただけるとありがたい。
- ・負担ではあるが、その患者さんの事を考えて、使命感で受けている。
- ・クリーンベンチでの調剤に関しては、慣れてしまえば粉やシロップの混合と大差ない。
経験者から教われればそれほど難しくはない。

《 どのような解決策があるか 》

- ・医師やケアマネージャーとの連携は大切だが、それ以前に各々の薬剤師のレベルアップ、薬局間の連携、情報交換も大切。

途中から皮下注射などを他の薬局に依頼するときに、薬局間で橋渡しができると医療機関で薬局を探す手間が省け、負担が軽減出来る。

- ・理想ではあるが、あうる薬局で医療機関やケアマネージャーなどからの在宅依頼を受けて、内容を精査して区内の薬局に振り分けるようなシステムが出来たら良い。

【結論】

- ・クリーンベンチが無くても在宅を受けることはできるが、患者さんの状況によっては持続皮下注などの手技を必要とするケースもあり、そのような時の為の準備は必要。
- ・医療機関や介護事業所との連携も必要だが、薬局間の連携をする必要がある。

【課題】

- ・この研究会に参画するメンバーを増やす。 → 皆さん、お待ちしております。

以上

令和 6 年度第 3 回在宅医療連携推進会議 訪問看護ステーション部会報告

部会開催 令和 6 年 12 月 16 日 18 : 45 ~ 19 : 45

＜訪問看護体験研修＞

- 募集：令和 6 年 12 月
- 実施：令和 7 年 1 月～3 月
- 参加医療機関（9 施設 26 名：看護師 26 名 MSW3 名）
都立大塚病院、
東京科学大学（旧東京医科歯科大学）
国立国際医療研究センター病院、
都立駒込病院、
東京都健康長寿医療センター、
都立大久保病院
都立豊島病院
日本医科大学付属病院
順天堂大学医学部付属順天堂医
- 受け入れステーション（19 ステーション）

＜訪問看護ステーション連絡会＞

- 1 月 9 日 19 時～イケビズ
目的：区内病院、医療的ケア児放課後デイについて情報共有し支援に活かす
 - ・区内病院紹介（要町病院、一心病院）
 - ・医療的ケア児放課後デイ紹介
- 感想：病院の特徴を知らなかったなので、知る機会となり患者支援に活かしたい。
入院担当窓口の方と顔の見える関係構築に繋がった。
医療的ケア児放課後デイについて知ることができ、訪問看護ステーションとして人材支援を検討したい。

＜在宅医療連携推進会議多職種交流会（担当：豊島区看護師会）＞

- 日時：令和 7 年 3 月 1 日 15 : 30 ~ 17 : 30
テーマ：臨床倫理について
基調講演：「笑って学ぶ臨床倫理」
講師：板井孝壺郎先生（宮崎大学）
- 場所：センタースクエア

＜令和 7 年度の予定＞

- 部会開催 4 月、11 月頃を予定
- 体験研修 12 月募集：実施 1 月～3 月
- 勉強会（案） 多職種シンポジウム？仮テーマ
がんと診断されたときから緩和ケアはなされているのか？
～現場の困りごと
- アンケート（案）「在宅医療におけるニーズの把握（医療編）
～眼科、耳鼻科、泌尿器科等の往診のニーズ～」

令和 6 年度第 3 回在宅医療連携推進会議

リハビリテーション部会報告

<活動報告>

1. 令和 6 年度第 1 回在宅リハビリテーション講座について

実施日時：令和 6 年 11 月 20 日 水曜日

18 時 30 分～19 時 30 分開催

開催方法：ZOOM での開催

参加者数：24 人

内 容：

第一部： ミニ講座 「理学療法士が行うリハビリテーション」

講 師： ゆみのハートクリニック

理学療法士 山田愛晃氏

第二部： 事業所紹介

- ・ ベストリハ訪問看護ステーション池袋
- ・ 訪問看護ステーション はな 池袋

2. 体験研修について

- ・ 今年度も 3 月実施予定
- ・ 1 月 14 日にお知らせを送付済
- ・ 募集締め切り日は 2 月 7 日

3. 広報誌について

- ・ 1 年間のリハ部会の活動報告及び次年度の活動予定のお知らせを中心に年度末を目途に発行予定。

以 上

令和6年度 第1回
在宅リハビリテーション講座

2024.11.20_web開催
事後アンケート結果

2024.12.26

豊島区在宅医療連携推進会議
リハビリテーション部会

豊島区 令和6年度

第1回在宅リハビリテーション講座

第1部のミニ講座では、理学療法士（PT）の仕事内容などをご紹介します。第2部の事業所紹介では、リハ職の事業所情報や特色、職員や利用されている方の様子等が紹介されます。



日時

11月20日(水)

18:30～19:30 オンライン(Zoom)開催

～参加対象～

豊島区内及び周辺区の病院・診療所・施設・事業所等に所属されている、リハビリテーションスタッフ（PT・OT・ST）、ケアマネジャー、看護師、MSW、その他リハビリに従事している方。

第1部:ミニ講座

「理学療法士が行う
リハビリテーション」

講師/ゆみのハートクリニック

山田 愛晃氏（理学療法士）

第2部:事業所紹介

紹介希望の事業所さん大募集！！

この機会にあなたの職場を紹介してみませんか？申込書の紹介希望「あり」に〇をお願いします♪

【参加お申込み】 別紙、申込書にご記入の上 FAX 03-3987-4110 または
メール A0016901@city.toshima.lg.jp（件名を「リハビリ講座」にしてください）
宛にお申込みください。オンライン（Zoom）開催のため必ずメールアドレスの記載をお願いします。

【申込期限】 11月11日（月） 【参加費】 無料

◆主催:豊島区在宅医療連携推進会議 リハビリテーション部会 ◆後援:豊島区リハビリテーション協議会

お問い合わせ:豊島区地域保健課がん対策・健康計画グループ（担当:飯澤）

☎03-3987-4243（土日祝を除く8時30分より17時15分まで）

アンケート回答者（15名）の属性

理学療法士	4名
歯科衛生士	4名
医師	2名
事務	2名
歯科医師	1名
ケアマネジャー	1名
医療ソーシャルワーカー	1名

※参加申し込み数 24名

当日参加者数 24名

参加率 100%（24／24）

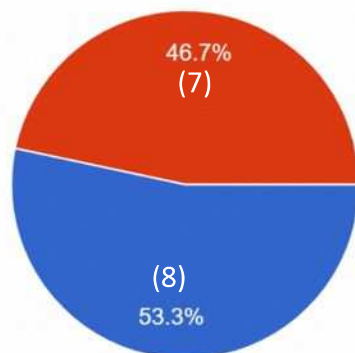
※欠席者もいたが、当日MCSでアクセス情報を共有したところ、直接参加された方がいた。

アンケート回答数 15名

アンケート回答率 約79%（15／24）

Q1. 今回の事業所紹介はいかがでしたか？

15 件の回答



5. とても良かった	8 (53.3%)
4. 良かった	7 (46.7%)
3. 普通	0 (0.0%)
2. 良くなかった	0 (0.0%)
1. 全然良くなかった	0 (0.0%)

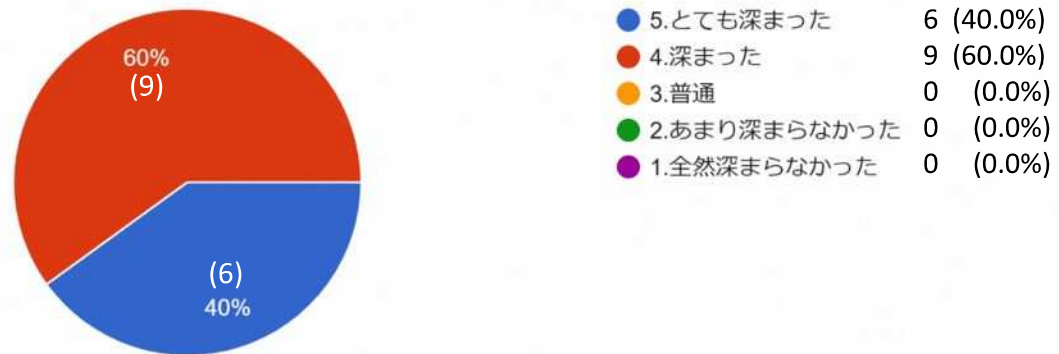
Q2. Q1の回答に関してどういった点でそう思われましたか。

15 件の回答

- ・ 事業所の特色がわかり良かったです
- ・ 事業所紹介をさせていただきましてありがとうございました！
- ・ 各現場情報を得た
- ・ 実際の様子や雰囲気がよくわかりましたので。質問に答えてのことだったかどうか、忘れましたが、たとえばSTの忙しさの雰囲気がよくわかりました。
- ・ 現場での具体的な仕事内容が知れたのと利用の仕方もわかったからスタッフの人数構成がわかりやすかったです。
- ・ リハビリ職の方がたくさん在籍していると知ることができました。
- ・ 事業所紹介で特色を把握することが出来たため
- ・ 職種の違いや事業所の特徴が良くわかった
- ・ リハビリの概念から学ぶことができ興味深かった
- ・ パワポ等活用していただき、とてもわかりやすかったです。
- ・ STが所属する事業所の紹介は初めてだったから
- ・ とても分かりやすかった
- ・ 訪問看護をしていることは把握していたが、他にどのような事業をされているか、企業理念などの紹介もあったため。
- ・ 1人の人の講演の形ではなく、いろいろな方の話を聞けたから
- ・ 分かりやすい説明でした。

Q3.今回の紹介で各事業所の理解は深まりましたか？

15 件の回答



Q4.事業所紹介で、もっと知りたい内容等があれば教えてください。

15 件の回答

- ・ 女性のPT OT ST の依頼があるときがあり、毎回事業所に確認しないといけない状況です。このような機会に情報を入手していこうと思います。
- ・ 自分としてもぜひ教えていただきたいです。
- ・ 特に追加はありません
- ・ とくにはありません。
- ・ 具体的にどんな症例で活用されたのかを示してもらえるとイメージしやすい
- ・ 一日あたり何件ほど回られるのか、何時～何時までの訪問が可能かなど。
- ・ 難病の方の割合はどの程度なのか。
- ・ 通所リハ専門とか訪問も行っているなどがわかる事業所一覧があるとよいと思います
- ・ 今回のように事業所の特色を聞けると参考になります。
- ・ 実際に働かれている、利用している方などの1日の過ごし方とかがあったとイメージしやすいと思いました。
- ・ 1週間のスケジュール、訪問頻度、訪問件数など
- ・ それぞれの職種からの紹介の仕方
- ・ どのような強みをもったセラピストがいるのか知れると良い
- ・ 今後の展望を伺いたい
- ・ 豊島区のSTがいらっしゃる事業所の情報を共有できればと思いました。

Q5.今後リハビリ職から学びたいor取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください。

15 件の回答

- ・ 介護職員が行える生活リハビリ等 アドバイスのコツとか
- ・ 在宅での困難ケース
- ・ 現場症例報告
- ・ 必須とありますが、困ります。責任が伴いますから。でも気楽に申しますと、40才以下の障害者のリハビリ。
- ・ 移乗の際などの介助方法
- ・ ゆみのさんの症例を交えた発表がとても良かったので、ほかにもいろいろな症例を知りたいです。
- ・ リハビリ職ならではの用具などあれば見たいです。
- ・ 難病の方との関わり方について
- ・ 麻痺している手や足の位置を変える時の注意点
- ・ リハビリ適用の判断フローや、実際のケース紹介
- ・ 介護予防などの体操、運動系のテーマ
- ・ 入退院支援の流れでお客が付いたのか、もともと在宅支援している中で転倒等によりリハが必要だ言うことで介入するようになったのか。
- ・ 症例をもっと聞きたい
- ・ CMさんの参加が多ければ、訪問リハの卒業についても、多職種でディスカッションできると良いと思う。
- ・ 痛みに対しての実際のアプローチをどうしているか共有したい
- ・ 安全なトランスの方法を確認したいです。

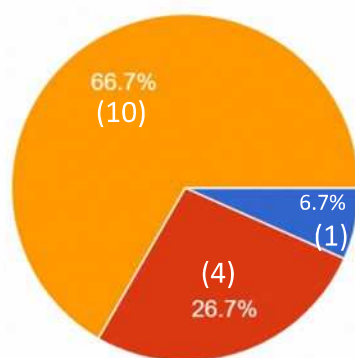
Q6.その他何かありましたら、ご意見をお聞かせください。

5 件の回答

- ・ 特にありません
- ・ 特になし
- ・ ケアマネジャーさんの参加がもっと増えるといいなと思いました。
- ・ 事務局側で普段はイメージしにくかった現場の情報が得られてとても良かったです。
- ・ 短い時間でしたが、有意義な時間でした。ありがとうございました。

Q7.今回の事業所紹介をご覧になって、ご自身の...と思われましたか？（※リハビリ関連事業所のみ）

15 件の回答



1.思った	1 (6.7%)
2.思わない	4 (26.7%)
3.リハビリ関連事業所ではない	10 (66.7%)

令和 6 年度

豊島区在宅医療連携推進会議臨床倫理部会報告

A. 部会

1. 第 1 回臨床倫理部会

令和 6 年 6 月 26 日 19:30～ 豊島区医師会館にて（対面のみ）：（添付議事録参照）

設立の趣旨、部員の自己紹介、今後の活動計画などを協議した。

2. 第 2 回臨床倫理部会

令和 7 年 1 月 6 日 19 時～ 豊島区医師会館にて（対面のみ）（添付議事録参照）

出席者 9 名（久保、山内、村崎、吉澤、黒須、南の各委員、佐藤係長、清水健一郎医師（事例提供医師）長嶋看護師（都立大塚病院）

協議事項：令和 6 年度第 5 回多職種連携全体会共催の臨床倫理講演会の進め方について

B. 講演会および事例検討会

1. 令和 6 年度第 3 回多職種連携全体会共催臨床倫理講演会及び事例検討会

令和 6 年 9 月 30 日（月）19:30～ 豊島区医師会館 4F 講堂＋WEB 配信

プログラム① 演題：一緒に始めよう！みんなで考える臨床倫理 講師：東京都立豊島病院緩和ケア科部長 ルイス（山田）陽介

プログラム② 在宅緩和医療を望むがん末期患者と積極的治療を望む統合失調症の娘への関わりで関係者に葛藤が生じた事例

プログラム③ グループワーク

2. 令和 6 年度第 5 回多職種連携全体会共催臨床倫理講演会及び事例検討会

令和 7 年 1 月 29 日（水）19:30～ 豊島区医師会館 4F 講堂＋WEB 配信

プログラム① 演題：臨床倫理について 講師：ルイス（山田）陽介先生

プログラム② 事例検討会 在宅事例で多職種による臨床倫理検討

事例：経鼻経管栄養を行っている患者さんの身体拘束が問題となった事例

プログラム③ グループワーク

【今後の計画と課題】

部会と講演会、事例検討会の開催について：次年度も今年度同様、数回程度開催企画する

検討事例の募集方法について：MCS を通じて幅広く多職種に呼びかけてゆく

講師講演料について：その必要性を継続して訴えて要望してゆく

引き続きそれぞれの専門領域で活動する部会員のコンサルテーションの能力向上に努力してゆく

第2回臨床倫理部会報告

令和 7年 1月 6日19時～：豊島区医師会館にて

出席者： 久保委員、山内委員、村崎委員、吉澤委員、黒須委員、南委員（欠）、清水健一郎先生（症例提供）、長嶋看護師（都立大塚病院）、佐藤地域保健課係長

1. 部会長挨拶

2. 協議事項

A. 回覧文（案）の確認

B. 全体会の進行について（役割分担の決定）

司会 吉澤 委員

- ① 事例紹介：経鼻経管栄養を行っている患者さんの身体拘束が問題となった事例の紹介、検討シートをもとに（清水先生）

- 四分割表読み上げ 黒須委員

グループワーク

参加委員全員で、対立するものは何かを見出す、
不足する情報の掘り出し、
質疑、意見交換、

まとめ 久保委員

- 経過報告（清水先生）

3. そのほか

事前準備事項、

山田先生には、臨床倫理4原則（自律尊重原則、無危害原則、善行原則、公正原則）をどのように当てはめて応用してゆくかの講演をいただく。

令和 6 年度第 1 回臨床倫理部会

2024 年 6 月 26 日

19 時 30 分～20 時 30 分

自己紹介

事務連会

豊島区在宅医療連携推進会議設置要綱 地域保健佐藤さんより

設立趣旨

部会長挨拶 久保先生

自己紹介 山田愛児さん（ゆみのハートクリニック PT

山内さん（特別養護老人ホームほんちょうの郷 施設長）

吉澤先生（歯科医師会）

南さん（西池袋ホームケア としケア 介護支援専門員）

山田先生（豊島病院緩和ケア科）

黒須先生（豊島区薬剤師会）

佐藤さん（地域保健課）

副部会長の選任 山内さん

活動方針

① 知識啓発：講演会、症例検討会

- ・医療の場では使われているが、介護・福祉の場には入ってこない。
- ・症例を重ねていく。
- ・倫理問題に正解はない。職業倫理も違う。
⇒大切なのは議論のプロセス。そこが記録に残されているか？

② 倫理検討の場を作る：MCS

問題提起シート作成

MCS 上で意見交換、ZOOM

定期的症例検討会⇒部会メンバーがコンサルテーションメンバー

③ 倫理コンサルテーションの費用は??

症例を重ねて要望していく。

令和6年度 豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点 実績報告書

令和7年1月30日
 豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点
 報告者: 中辻康博

1. 相談支援ケース

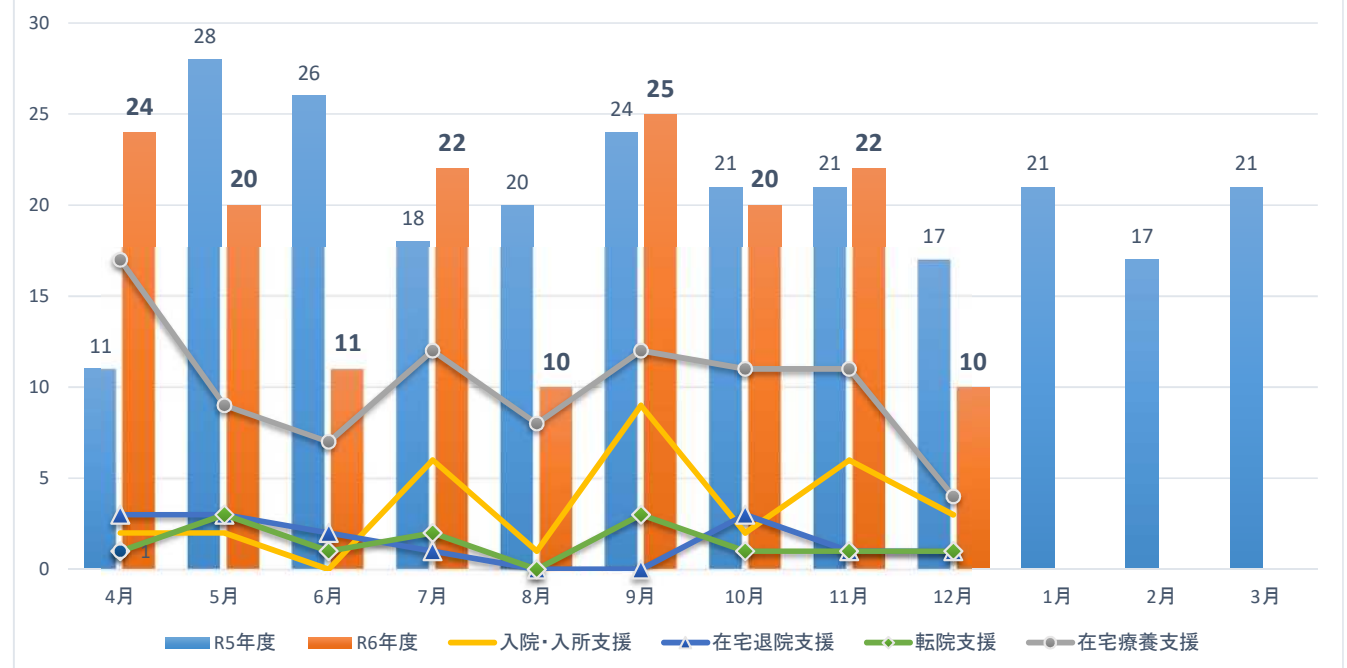
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	ケース数	R6年度	24	20	11	22	10	25	20	22	10				164
		R5年度	11	28	26	18	20	24	21	21	17	21	17	21	245

相談内容	在宅療養相談	在宅療養支援	17	9	7	12	8	12	11	11	4				91
		入院・入所支援	2	2	0	6	1	9	2	6	3				31
	うち後方支援病床確保事業		0	1	0	2	0	8	2	5	3				21
	退院相談	在宅退院支援	3	3	2	1	0	0	3	1	1				14
		転院支援	1	3	1	2	0	3	1	1	1				13
	その他		1	3	1	1	1	1	3	3	1				15

依頼者	本人	3	1	2	2	2	1	5	7	2					25
	家族	6	5	3	7	1	5	5	2	3					37
	医師	1	0	0	2	0	0	0	0	0					3
	医療ソーシャルワーカー	3	3	1	4	0	10	3	6	3					33
	看護師	1	2	1	1	0	0	2	1	2					10
	ケアマネジャー	3	3	1	3	0	5	0	2	0					17
	地域包括支援センター	4	4	0	1	4	1	3	1	0					18
	コミュニティーソーシャルワーカー	1	0	3	0	2	1	0	0	0					7
	行政	1	1	0	2	0	0	1	3	0					8
	その他	1	1	0	0	1	2	1	0	0					6

業務方法	電話	95	53	65	89	47	59	87	55	27					577
	訪問(外出)	1	0	1	1	2	0	1	1	5					12
	館内	1	3	1	2	2	8	1	2	4					24
	来所	4	1	1	3	1	10	5	2	0					27
	郵便・FAX	4	1	1	1	0	1	3	2	10					23
	メール	9	1	1	2	3	0	0	0	4					20
	SNS(MCSなど)	4	1	8	3	2	0	0	0	0					18
	合計(延べ数)	118	60	78	101	57	78	97	62	50	0	0	0		701

相談支援件数



豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点 実績報告書（令和6年9月～12月分）

2. 普及啓発・情報収集活動（訪問・来所機関）

病院	区内	0	居宅・包括	1
	区外	6	介護関係事業所	1
診療所	区内	5	行政・社協	3
	区外	1	他地域 （医師会・行政・窓口）	10
歯科・薬局		1	その他	9
訪問看護		7		

【他地域（医師会・行政・医師会）】
 ・北区在宅療養相談窓口
 ・練馬区 高齢者支援課
 ・杉並区在宅医療相談調整窓口

など

3. 会議・研修 等

会議・打合せ

日にち	会議・研修名 / 内容（テーマなど）	参加者	開催方法/会場
9/6	豊島区医療的ケア児等支援協議会	中辻（委員）	あうるスポット会議室
9/10	退院支援人材育成研修打合せ	中辻	WEB
9/26	在宅療養支援窓口取組推進研修打合せ	中辻	ベルサール飯田橋駅前
10/1	R6年度第2回豊島区在宅医療連携推進会議	中辻・猿渡・鈴木	WEB
11/8	退院支援人材育成研修打合せ	中辻	WEB
11/20	野村総研ヒアリング	中辻	池袋保健所
11/21	令和6年度豊島区難病地域対策関係機関連絡会	中辻	池袋保健所
11/22	第3回豊島区地域包括 医療職部会	中辻	としま区民センター
11/27	在宅療養支援窓口取組推進研修打合せ	中辻	ベルサール飯田橋駅前
12/12	地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会	中辻	WEB（医師会館会議室）

研修会・セミナー

日にち	会議・研修名 / 内容（テーマなど）	参加者	開催方法/会場
*9/18	日本MSW協会「初めてのデータ活用術」	中辻	WEB
*10/9	日大板橋病院 地域連携がん診療セミナー	中辻	WEB
*10/12	豊島区医師会区民公開講座	中辻	医師会館4階 講堂
11/20	令和6年度第1回リハビリテーション施設紹介	猿渡	WEB

その他

日にち	会議・研修名 / 内容（テーマなど）	担当	開催方法/会場
4/1～	令和6年度 東京都入退院時連携強化研修実行委員会	委員：中辻	WEB 他
9/19～	東京都入退院時連携強化研修 A・B・C日程	ファシリ：中辻	ベルサール飯田橋駅前 他
*10/17	日大板橋病院医療連携講演会	中辻	ホテルメトロポリタン
11/15・12/13	東京都退院支援人材育成研修	ファシリ：中辻	ビジョンセンター西新宿
*12/8	としま健康展（医療福祉相談）	中辻	としま区民センター
12/16	フードパントリー相談会	猿渡	区民ひろば千早
12/24	東京都 在宅療養支援窓口取組推進研修	進行/ファシリ：中辻	東京都看護協会

豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点 実績報告書（令和6年9月～12月分）

4.豊島区地域医療介護ネットワーク構築事業

○包括圏域ごとの多職種連携の会

日にち	圏域		開催方法/会場	内容(テーマなど)
9/4	いけよん	コアミーティング	池袋ほんちょうの郷1階 カフェスペース	
9/5	医師会	コアミーティング	WEB	
9/12	西部	多職種連携の会	医師会館4階 講堂	災害時の医療介護連携(講演・GW)
9/18	窓口	連絡会	医師会館7階	としま在宅医療連携担当者連絡会
9/19	東部	コアミーティング	歯科医師会館3階 会議室	
9/20	アトリエ	コアミーティング	アトリエ村 会議室	
9/30	全体	多職種連携全体会	医師会館4階 講堂 / WEB	第3回「臨床倫理について」
10/3	いけよん	コアミーティング	池袋ほんちょうの郷1階 カフェスペース	
10/13	いけよん	多職種連携の会	池袋本町公園	池袋本町商人まつり1日目
10/14	いけよん	多職種連携の会	池袋本町公園	池袋本町商人まつり2日目
10/22	西部	コアミーティング	WEB	
10/23	アトリエ	コアミーティング	アトリエ村 会議室	
10/24	東部	コアミーティング	歯科医師会館3階 会議室	
10/26	中央	多職種連携の会	東池袋桑の実園	介護福祉用具の展示会
11/6	菊かおる	打合せ	WEB	
11/6	医師会	コアミーティング	WEB	
11/8	いけよん	コアミーティング	池袋ほんちょうの郷1階 カフェスペース	
11/14	医師会	打合せ	医師会館6階 会議室	
11/14	菊かおる	多職種連携の会	菊かおる園ケアハウス棟 会議室	テーマ「次世代が考える多職種連携」
11/22	アトリエ	多職種連携の会	アトリエ村 会議室 等	福祉用具の説明会
11/25	ふくろう	コアミーティング	ふくろうの杜 / WEB	
11/28	東部	コアミーティング	歯科医師会館3階 会議室	
12/2	全体	多職種連携全体会	WEB	第4回「腎性貧血について」
12/2	中央	コアミーティング	永利	
12/5	医師会	コアミーティング	WEB	
12/6	菊かおる	打合せ	WEB	
12/12	東部	多職種連携の会	区民ひろば南大塚	区民向けイベント
12/16	窓口	打合せ	WEB	連携担当者連絡会について
12/23	いけよん	コアミーティング	池袋ほんちょうの郷1階 カフェスペース	

5.在宅医療推進強化事業

○関連会議・打ち合わせ等

日にち	会議・研修名	会場/開催方法
9/11	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室/WEB
9/19	社会保険診療報酬支払基金ヒアリング	支払基金事務所 会議室
9/25	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室/WEB
10/2	医師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室
10/9	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室/WEB
10/16	医師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室
10/23	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室/WEB
10/30	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室/WEB
11/13	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室
11/27	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室
12/9	ロールプレイ(医師会・看護師会・システム会社)	6階会議室
12/25	医師会・看護師会・システム会社 打ち合わせ	6階会議室/WEB

2024年度 豊島区歯科相談窓口 実績報告書

資料8

(2024年4月～2024年12月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	新規ケース	22	16	30	22	18	22	26	23	14				193
受付方法	電話	20	17	30	20	19	20	25	21	17				189
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	FAX	0	0	1	0	0	0	0	1	0				2
	来所	2	1	2	4	0	2	3	4	0				18
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
依頼者	本人	4	5	8	6	4	9	6	6	5				53
	家族	6	7	12	8	5	4	10	10	3				65
	医療機関	1	2	4	1	1	1	0	2	1				13
	訪問看護ST	0	0	0	1	0	2	1	1	0				5
	居宅介護支援事業所	11	3	8	7	8	6	10	7	8				68
	高齢者総合相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	行政機関	0	1	0	0	0	0	0	0	0				1
	こども家庭支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
依頼経路	その他	0	0	1	1	1	0	1	0	0				4
	医療機関	3	6	9	5	2	5	4	6	2				42
	訪問看護ST	0	0	0	2	0	2	2	1	0				7
	居宅介護支援事業所	11	2	8	6	9	6	10	10	8				70
	高齢者総合相談センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0				1
	行政機関	1	1	4	6	3	1	4	3	0				23
	在宅医療相談窓口	0	1	1	0	0	0	0	0	0				2
	こども家庭支援センター	0	1	1	0	0	0	1	1	1				5
	パンフレット	0	1	1	0	1	1	0	0	0				4
	ホームページ	0	0	2	0	1	4	3	1	0				11
相談内容	その他	0	6	7	5	3	3	4	4	8				40
	在宅歯科	14	11	16	15	16	12	19	13	12				128
	障害者歯科	6	6	13	4	3	6	6	7	5				56
	連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	情報提供	2	1	4	5	0	4	3	5	0				24
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1
相談対応方法	電話	30	47	81	78	87	63	84	54	37				561
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	FAX	4	14	27	33	33	24	30	17	8				190
	来所	2	1	2	4	0	2	3	5	0				19
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
転帰・調整先	あぜりあ歯科診療所	17	10	16	8	6	7	7	6	6				83
	病院(歯科口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	病院(医科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	診療所(歯科)	2	0	1	4	1	1	2	6	0				17
	診療所(医科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	訪問看護ST	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	居宅介護支援事業所	0	0	13	11	13	9	15	8	7				76
	高齢者総合相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	その他(情報提供等)	4	2	4	6	3	4	3	7	0				33
コーディネート数	ケース数	12	8	18	18	17	12	17	15	7				124

普及啓発および情報収集(件数)	0	1	1	0	0	1	0	0	0					3
新聞掲載、広報としま掲載、各団体にパンフレット配布他														

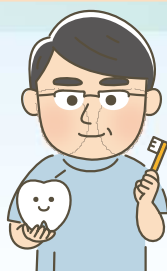
会議・研修等	会議	7	6	2	2	4	5	8	3	2				39
	研修	0	1	0	0	1	1	1	2	0				6
	講演会	1	0	0	2	1	1	0	1	1				7
	その他	0	1	1	1	1	2	2	1	3				12
	合計	8	8	3	5	7	9	11	7	6				64



令和6年度 豊島区在宅医療 連携推進会議 多職種交流会



豊島区
豊島区医師会・豊島区歯科医師会・豊島区薬剤師会・豊島区看護師会



在宅医療に関係する多職種の皆様が集まり、地域医療連携を推進することを目的としています。

日時

令和7年3月1日（土）15時30分～18時

場所

豊島区役所 1階 センタースクエア

◇ 第一部 15時30分～17時

講師：板井 孝壱郎 先生

宮崎大学 医学部 医学科 社会医学講座生命・医療倫理学分野 教授

テーマ：臨床倫理部会設立記念講演

「笑って学ぶ臨床倫理 ～ 臨床倫理って何モノ？～」

◇ 第二部 17時～18時 スイーツタイム（名刺交換会）



【申込はこちら】

申込期限 2月21日(金)

お問い合わせ先：豊島区看護師会 03-6824-5950 受付時間 9：00-17：00【土日・祝日除く】

在宅医療相談窓口に寄せられた相談・調整事例（令和6年9月～12月終結ケースより一部抜粋）

No	年齢性別	依頼者		相談支援分野		相談・対応内容
		所属	職種			
1	79	地域包括	相談員	在宅療養支援	相談	COPD、人工呼吸器使用。要介護5（訪問診療・訪問看護・訪問入浴利用）。在宅退院後も吸引が必要で家族が対応しているが、夜間の吸引やトイレ介助等で疲弊。自費サービスで夜間も訪問看護を導入したが高額になっている。定期巡回・随時対応型訪問看護は時間指定のため、本人・家族が必要時の訪問が困難。重度訪問看護は区役所に問い合わせたが非該当なため、何か使用できるサービスはないかと窓口相談あり。
					支援	看護小規模多機能居宅介護事業所（以下、看多機）に確認。宿泊・通いは対応可能だが、訪問は自転車利用のため対応困難との返答。また、看多機を利用するにあたり、従来利用している訪問看護事業所から引き続き訪問看護を提供することが可能か看護協会に確認。看多機が、医療保険の訪問看護を外部の訪問看護事業所と連携して提供することは可能と回答あり。訪問診療クリニックMSWや保健師に情報提供。保健師が、家族や訪問診療クリニックMSWと相談していくことに。後日、保健師より、吸引回数が減少し、本人・家族も落ち着いてきているので、このまま様子をみていきたいと連絡あり。
2	不明	居宅介護支援事業所	ケアマネジャー	その他	相談	担当している利用者の家族についての相談。ケアマネジャーも家族と直接かかわりが無く不明点が多いが、どのように対応すべきか助言を求められた。家族はがん治療を受けていたが、できる治療がなくなったためか、主治医から今後過ごす場所として有料老人ホームの紹介業者のパンフレットを渡された。ただ、有料老人ホームは料金が高く決められない、どうすれば良いかとの事。
					支援	電話で聞く限りは、今後の病状や療養場所について家族で話し合えておらず、それぞれの希望についても固まっていない様子であることから、まずはがん相談支援センターへ同様の相談をして、今後の病状についての確認や療養場所の選定などの意思決定を含めて支援してもらうことを勧めた。
3	77	地域包括	相談員	在宅療養支援	相談	先週あたりから歩けなくなってしまうと、地域包括支援センター窓口に来所。包括の看護師がインテーク後、受診先の選択について当窓口で助言を求め入電あり。もともと2か月ほど前に帯状疱疹で隣接区の病院へ1か月ほど入院歴あり。また、リウマチで区内病院（整形外科）にもかかっている。この場合はどのようにすれば良いか、神経系の病気だと思われるが（看護師談）。
					支援	現在、すでに大きな病院にかかりつけているので、できればそれらの病院を受診し、必要な診療科へ紹介してもらった方が、これまでの病歴や検査歴を踏まえた診療を受けられるのではと伝え、次回受診日に相談する方法を助言。もし急ぐようであればそれぞれの病院の患者支援センター宛て連絡し、症状説明の上で早めの受診予約をお願いすることを勧めた。
4	45	病院	MSW	在宅療養支援	相談	リハビリ病院の外來MSWから相談。交通事故で受傷し、外來リハビリに通院中の患者。多発骨折の治療後、高次脳機能障害があるが、病院でのリハビリを終了し、地域に移行する予定。地域で主治医になってもらえる医療機関、訪問リハビリテーション（実施訪問看護ステーション）の情報について知りたい。リハビリは骨折後の大腿部のメンテナンスと外出範囲の拡大等の訓練を希望。経済的な問題がありできれば自立支援医療（精神通院医療）を利用したい。
					支援	病院MSWと様々な選択肢を相談して情報提供を行った。具体的には、主治医は高次脳機能障害をメインとした専門科の医師でなくとも、本人の高次脳機能障害の特性を踏まえてかかりつけ医として、地域医療に積極的な医師に担ってもらうこと、自立支援医療の利用を優先し、精神科や訪問診療医療機関の利用可否、自立支援医療を利用した場合、訪問リハビリは作業療法士の訪問に限定されることをどう考えるか等本人と相談をしてもらうこととした。
5	47	同居	家族	転院支援	相談	5年前に脳出血発症、急性期・回復期を経て在宅生活。訪問診療や介護サービスを利用しながら生活。半年前より感情が不安定、高次脳機能障害の診断を受け、全介助レベル。レスパイト目的で地域包括ケア病棟入院中。今後、治療目的で転院も考えられ、どう探していけばよいかと相談あり。
					支援	近々、MSWと面談予定とのことだが、いろいろ希望を伝えてもよいものか心配している様子。現在の不安な心境について直接伝えてもらうが、こちらからも入院先MSWと情報共有していくことに了承をもらう。在宅支援チームと家族の受け入れについて、入院先のMSWが傾聴・対応。入院中に服薬調整で落ち着き、もともと担当していた在宅チームを中心に在宅退院となる。
6	77	地域包括	相談員	在宅療養支援	相談	脳梗塞のため隣接区の病院に3か月入院し、在宅退院。高次脳機能障害あり、要支援1でADL自立。包括として契約までの段階であるが、今後のサービス利用に関して対応してもらえるデイサービスを探すも見つからず、訪問リハビリも含めて検討中。高次脳機能障害対応の訪問リハビリ・通所施設の情報について相談あり。
					支援	OT所属の訪問看護ステーション、高次脳機能障害デナイトケア 障害者（自立訓練・生活介護）施設などの情報提供。利用条件や環境が本人が希望するものとは一致するかは個別に問い合わせの必要あり、また見学等も実施していることから選択肢として提案してもらうこととする。
7	40代	本人		その他	相談	ホームページで「みんなのためのがんサポートガイド」を見て、と入電。自身の癌治療中、配偶者が2人の子どもの世話を一人で担うことになる。苦手な食事の支度など手伝ってもらえる制度はあるかの問合せ。
					支援	利用歴のあるファミリーサポートへの問い合わせの他、社会福祉協議会、病院の相談室、配食や自費サービスの情報源として（高齢者向けの情報が主体になるかもしれないが）地域包括支援センター等の情報を提供した。
8	60	障害支援センター	計画相談員	在宅退院支援	相談	ギランバレーで入院中。自宅退院にむけて、訪問診療と訪問リハビリ導入希望。入院先のMSWより地域で探してほしいと計画相談員に依頼があり、当窓口相談となる。
					支援	病状、現在のADL、希望などを伺い、数か所の医療機関、訪問看護ステーションを紹介。計画相談員が本人・家族と相談し、事業所を決定。退院前カンファレンスを開催し、無事に退院され、リハビリも開始されたと後日報告あり。

参考資料2

2024年9月～12月歯科相談窓口事例

	NO.	受付日	対応回数	年齢	性別	依頼元	地域	転帰	コーディネーター	相談内容・特記事項
1	2912	9月12日	1	71	女	本人	西巣鴨	障害者歯科		歯科恐怖症 糖尿病 高血圧 高脂血症 要介護:なし 主訴:近隣の歯科で治療をしているが、歯科恐怖のため、一向に進まない。むし歯が多数あるのであぜりあでお願いできないか。
2	2914	9月17日	1	68	女	本人	区民	障害者歯科		肝臓がんの患者。区内開業医で下顎臼歯を治療し、抜髄となるも免疫力が低下しているので薬を出したり消毒をしっかりしてほしいといったが投薬無し。結局、腫れて救急で口腔外科にかかることになってしまった。その旨をかかりつけ歯科医に伝えたら、大学病院を紹介された。しかし、2年通っても、治療が終わらず、余命3か月と宣告され、早く噛めるようにしたい。どうしたらよいか?⇒あぜりあ歯科に一度来ていただき、あぜりあで何とか治療できるようであれば対応することとした。
3	2915	9月17日	2	96	女	本人	千早	障害者歯科	○	房室ブロック ペースメーカー 要介護:不明 主訴:右下の小臼歯が欠けて痛みがある。訪問で診てもらう様に近所の会員歯科でアドバイスを受けたが、ご本人がまだ通えるとおっしゃり、あぜりあに通院することになった。付き添いのお願いをした。
4	2926	10月1日	1	66	男	本人	千川	障害者歯科	○	脳死肝移植 B肝 DM 血液製剤使用 右下1番奥がコアごと取れた。左下のオペも大変だった。大学病院の歯科で治療していたが、アボが1カ月先のため、開業医にかかると思ったが、B肝ということで拒否される。どうしたらよいか?⇒あぜりあで対応します。
5	2938	10月8日	6	85	女	家族	東池袋	在宅歯科	○	膠原病 強皮症 要支援:2 主訴:食欲がなく、栄養面が心配。口腔内の全体チェックも希望。管理栄養士による栄養指導希望。
6	2954	11月6日	5	53	女	居宅介護	上池袋	在宅歯科	○	咽頭がん術後 気管切開 乳腺癌手術予定 要介護:申請中 主訴:リハビリしても食べ物の形状によって鼻に回ってしまう。飲み込みやすい食形態と高栄養の食事について知りたい。口腔ケアが自分でできないので、定期的な口腔ケアを希望。⇒訪問前に入院してしまった。
7	2955	11月6日	2	81	女	居宅介護	東池袋	障害者歯科		統合失調症 右大腿骨頸部骨折 要介護:3 主訴:食事量が少ない。歯に原因があるのか精査してもらいたい。噛めるようにしてほしいと娘さんが希望。義歯新製か。
8	2969	11月26日	1	55	女	本人	文京区	障害者歯科	○	線維筋痛症 一型糖尿病 びまん性骨増殖症 噛み合わせが悪い。むし歯がある。低血糖の発作を起こすことがある。
9	2976	12月9日	1	1歳8カ月	男	家族	巣鴨	障害者歯科		何かの障害の疑いがあるかもしれない。主訴:口の締まりが悪く、唾液が垂れる。
10	2977	12月9日	2	76	男	家族	千早	在宅歯科		くも膜下出血 脳梗塞 水頭症 レビー小体型認知症 要介護:5 主訴:上奥歯欠けている。下前歯動揺。

豊島区在宅医療コーディネーター養成講座 基礎編



～信頼関係を構築し維持していくために～

東京大学大学院医学系研究科
在宅医療学講座
水木麻衣子

豊島区在宅医療コーディネーター募集概要

- ◆主催：豊島区健康部地域保健課
- ◆対象：豊島区内の各事業所の医療・介護関係者の方
※主にケアマネジャーを対象していますが、その他の職種の方も是非ご応募ください。
- ◆募集人数 25名程度
- ◆受講料 無料

豊島区在宅医療コーディネーターコンセプト

在宅ケアにおいて、患者・家族の意思決定支援と関係者の合意形成を積極的に担っていく役割

1. 利用者の意思決定支援にかかわることができる

ポイント①自分で考え決めていくことを支える(判断能力に応じた支援)

②関わっていく支援者の力量の差がでるため自己学習が必要

③スキルは信頼関係の構築や話し合っていく力、環境づくり

2. 医療者と情報共有や合意形成ができる

ポイント①医師の医学的な判断を理解できるようにする

②意思決定支援が重要であることを知っている

③個別ケースごとに何を大事にしていくか、リスクをどのように引き受けるかをチームで話し合う

④スキルは、チームに状況を的確に伝えていく技術

3. その結果、利用者の人生の最終段階を支えることができる

2024年度基礎編カリキュラム

日にち	テーマ	内容	講師
9月26日 (木)	神経難病、臓器不全、緩和ケアの実際	がん、非がん患者の在宅療養支援の実際、アセスメントや心理支援について病の軌跡をたどりながら学ぶ	鈴木悦子先生 要訪問看護ステーション 看護師
10月24日 (木)	在宅医療概論	在宅医療ケアでよく見る疾患、症状の解説。在宅医療における医師の役割	重島祐介先生 町のクリニック目白家庭 医療専門医
11月22日 (金)	意思決定支援症例検討	在宅医療ケアの場で行われる意思決定支援を症例検討の形で学ぶ	水木麻衣子 日本医療コーディネーター協会
12月20日 (金)	病院の機能と入退院支援の現状	地域における病院の役割と機能、病院内外の連携等の実際、病院内の退院支援や医療機関との情報連携について学ぶ	磯部祥子先生 東京都立大塚病院患者・地域サポートセンター
1月30日 (木)	薬の知識と服薬支援	薬の基本的知識と薬剤師の役割について	田崎崇先生 タサキ薬局薬剤師
	摂食嚥下と口腔ケア	歯科医師の役割と口腔ケアと嚥下について	高田靖先生 高田歯科医院歯科医師

豊島区在宅医療コーディネーター養成講座の経緯

①2009年

豊島区医師会が試行した東京都福祉保健局のモデル事業。豊島区在宅医療コーディネーターを配置し、調整機能をコーディネーターに担わせることを前提として、在宅医療コーディネーターモデルを使い、医療コーディネーションの実例検証を実施

②2010年

主体が区に変更し第1回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座実施

③2012年

- ・豊島区が豊島区在宅医療コーディネーター配置を見据え、在宅医療コーディネーター養成講座修了者の中からコーディネーターを選抜し、在宅医療コーディネーターモデル事業を行った。スーパーバイズ機能としてコーディネーション検証部会を設置。
- ・第2回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座開催

④2013年～2023年

2013年第1回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座上級編

2014年第3回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2015年第4回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2016年第2回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座上級編

2017年第5回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2018年第6回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2019年第3回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座上級編

2020年第7回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2021年第8回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2022年第4回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座上級編

2023年第9回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

2024年第10回豊島区在宅医療コーディネーター養成講座

豊島区在宅医療コーディネーター養成講座の特徴

①研修の場を有機的な場にするために豊島区の臨床家を講師に

医師：吉澤明孝先生、土屋淳郎先生、檀直彰先生、山根明子先生、弓野大先生、
久保信彦先生、部坂弘彦先生、池田博斉先生、重島祐介先生

歯科医師：高田靖先生 薬剤師：佐野雅昭先生、遠藤信一郎先生、田崎崇先生

コメディカル：村崎佳代子先生、鈴木悦子先生、武山ゆかり先生、前場徳世先生
鹿志村昇平先生、志村裕子先生、長谷川尚子先生、稗田潤先生他

②大切にしたい考え方はゲストスピーカー

田城孝雄先生、吉江悟先生、高瀬義昌先生、稲葉一人先生

宮崎詩子先生、日岡千加子先生、中澤佳穂子先生、石原由花先生

③一般的な病気の経過に関するイメージや知識をもつことを重視

疾患別の死に至るパターンの相違、緩和医療、救急医療の一般的な考え方やしくみを知ることで、医学的介入によってどのような効果があるのか、をイメージできるようにする。

④意思決定支援と合意形成のスキル獲得と事例検討の徹底

コーディネーションは、正確な状況把握に基づく「関係調整」であり、そこに至るまでの「意思決定支援」と「合意形成」を含む一連のプロセスである。資源の限られた中で最適な医療介護サービスを利用者に提供していくためには、必須のスキルを事例検討を通して学ぶ

受講者の声

★訪問看護師の関わり

- ①医療用語初めて聞くものが多く学びました。末期の方の経過を学べてよかったです。
- ②在宅療養支援をする上で知っておきたい用語がわかりやすかったです
- ③用語に慣れていないせいか、説明についていくのが精いっぱいだった
- ④ACPを書くことをすすめるという経験は今までなかった。医療関係の方が勧めて頂くのがベストだと思う
- ⑤在宅で看取りをするか、はご家族の理解や協力が必要であると思いました
- ⑥がん末期の大切なポイントの知識が深められてよかったです。スキルの向上、何でもかんでもやることが全てではないと改めて感じました

★訪問診療医の関わり

- ①受診理由が大事。主訴を知ろうとすることと心配を取り除くことの大切さがわかりました。
- ②総合診療医と臓器別専門医のちがいが理解できてよかったです
- ③複雑困難事例が多い中「安定化」を目標とするという言葉がとても驚きました
- ④高齢者の疾患の複雑性が、具体的疾患の説明で明確になった。俯瞰的な視点の必要性が理解できた。
- ⑤疾病構造が変わったことで、病の持つ意味を理解すると、「治る」ではなく「リスク管理」を伝えていくことが大事だと思った。

受講者の声

★病院との関わり

- ①へーと思うことがたくさんありました。病棟の違いからの選び方も参考になりました。
- ②退院の際、「退院支援をしたい」とまず伝え、目的、質問を整理して連絡するということを学べてよかったです。緩和ケア＝看取りと思っていたので、びっくりしました。
- ③相手を知ることが支援のポイント。説明力を高めることが情報収集のポイント。
- ④病院の種類、医療圏域があることなど、複雑であることがわかった
- ⑤病院によっては、対応や部署が違うなど、連携をとっていくには要約した内容で問い合わせをしていくことが大切だとわかりました。
- ⑥自分が担当している利用者さんで右肩を骨折して病院に入院させてほしいとお願いしたが、受け入れてもらえずサービス調整をして自宅療養されている人がいる。なぜ入院できないか、納得できた。
- ⑦病院の事情をきけて本当によかった。